京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

京城西小門　京城新報社
仁川支局

京城新報

明治四十四年を送る

歳云暮、感何ぞ堪ねん、古賢日に三たび其身に省るものあり、自ら省みるは其爲す所の善悪當否を査察して以て自ら新にせんとする者なり、一日の行事猶且つ之を省みる、況んや一年の中喜ぶべきもの悔ゆべきもの悲しむべきもの錯綜として出づるをや、歳將さに暮れんとするに臨みて、顧みて一年の事を思ふ、意は亦以て來るべき新年に於て自から振はむと欲するに外ならず。

噫、一年三百六十五日、其短少ならざる日子、吾人の經過し來りたる料程を回視せば、誇るに足るべき功蹟の存するものなし、豈自から顧みて忸怩たるなからむや、然れ共、既往吾人の論議せし所のものに就て見るに、世人をして甞て聽過眼視せしめざりしもの亦少々ならざるなり、これ吾人聊か意を強ふせずむばあらざる也。

茲に、吾人が事新らしく吹聽する迄もなく、一度び本紙を繙けば如何に本紙が民間の機關を以て自から任じ、民間のために貢献なしつゝあるやは、讀者の齊しく認識せらるゝ所なり、然り御用記者にあらざる吾人は、我帝國高等政治に對し殆んど治外法權の觀ある朝鮮統治に關し忌憚なき評論を試み以て其進善を希圖せり。阿諛を事とし半島政治に關しては一切の批評も報導も何等國民を刺激するに足る活氣あるものを發見する能はざるは、帝國生存の第一線に觸れつゝある半島の價値を重視せしめ、且つ國民をして切に半島經略の急を感ぜしむる所以にあらざる可べし、吾人が半島官憲に盲從せざる眞意蓋し此に存ず。之を以て吾人は本年中に於て、朝鮮會社令に反對せり、彼半島憲兵警察制度の不可を叫べり、半島産業振興の大使命を擔へる東拓會社に對しては斷へず其奮起を促がし、一面半島に於ける通貨の膨脹に就ては政府及び一般に警告する所あると共に、鮮人の貯蓄心涵養策として割増付農工貯蓄債券を發行すべしと唱へ、又産業發達上の急務として日鮮間關税撤廢を主張し特に鮮米移出入税を現存せしむるは半島同化政策に矛盾するものたるを論じたり、此外事に當りて論議せしものも亦少なからざるも、其言ふ所のもの殆んど世人の注意を惹き、反響の立ごころに現はれ來るもの多く、現に母國に於ける有力なる同業者にして吾人の所論に裏書せるもの頻々たるは、これ吾人の言議が妄に事を好むものにあらざるを證するにあらずとせむや。吾人は爰に本年の本紙終刊に臨んで既往に於ける吾人主張の一端を掲げ以て將來に對する吾人の立場を明らかにし更に明治四十五年を迎へて、益々操觚の業に勵むあらむことを所期す。終に莅み、讀者各位に、尚は新年に於て一層の眷顧を賜はらんことを冀ふものなり。

外事一束

▲露波　兩軍波斯ダブリッツに於て衝突し激戰あり知事官邸は砲撃され又た一方エンゼリ及レシトの露軍も波斯憲政黨員と衝突し警察本部を占領す

▲土國　政變愈迫り宰相議會解散を奏請却下され各派聯合新内閣組織運動起る

▲墺帝　容態益重きを加へ遂に崩御すとの風説起るも維納に於て公然否定す

▲英國　ランカシャの紡績職工罷業は雇主側強硬の態度を持する爲め紛事は緩和の望なく七百の工場閉鎖され十六萬人の職工は遂に業を休むに至る

▲補缺　撰擧に蘇格蘭の統一黨勝利を得黨員キャンベル七千票を以て當撰す

▲海牙　に於て萬國阿片條約第三讀會を通過し次會は來春を以て開催に決す

▲駐露　波斯公使露相を訪ひ波斯政府の露の最後通牒の要求一切承認の旨を述

梁川庄八

第六十七回　小金井蘆洲演

才『向ふも成程亂暴のやうではあるが此處で取られければ取る時節はないと思ふ容子、お前さんも亦金があれば出しもしやう、が無い袖は振れないと云へば、双方とも理屈があつて何時までも水掛論だ、失禮ながら仲人に這入つた私がお立替へ申そう、併し私の手から遣ては理が違ふからお前さんの手から其金をお遣りなさい』勇『併し大枚十兩のお金……　才『いや十兩位は私の修覆料に僅か百文しか出さないと云も持て居る　勇『持てお居でなら何うかつたら、村の者が憤るのも無理はない此場の難儀をお救ひ下さるやう、直にどうぞう思ひながら驀て其門の中に這入お返却致しますから　才『宜しい、と云りました、勇吉は　勇『何うぞ此方へと、つて胴巻を解てざく〳〵と小判ばかり中の口と覺しき處から案内して、一寸お振出して、其中から十兩だけ撰出しした座敷に才助を倒て奥の方へ參りま

才『さあ之をお前さんにお貸し申そう、勇吉は驚いて十兩の小判を彼の若者共に手渡しました、そこで一同の者は急に今までの閻魔顔が地藏顔に變つて若『やれ〳〵氣の毒なことだ、前に長左工門が一兩の金を出しさへすれば、何でもないのに今になつて十兩の金を自分の息子に拂はせると云ふのは是れが一文惜みの百損と云ふものだ、早く此金をお神酒所に持て行て一同の衆に見せやらう時に五臟圓の衆扱つて下さいまして有難たうござせます、追て重立つた者と相談の上にお家までお禮に伺ひませう　才『何う致して見る影もない私にお任せ下すつて有難たう存じますさあ御遠慮なくお引取を願ひます』若者は其十兩の金を高擧げて一同の者を引連れてお神酒所に引揚て行きます、そこで才助は勇吉に向て此の行先き亦如何なる事が出來ないとも知れぬ、夫れでは俗に佛造つて魂入れずと云ふこともある、此難儀を助けて此先き亦村人の爲に窘められるやうな事があつてはならぬから、家まで私が送つて進ぜやう』と云ふ勇吉も何うか自分の家へ案内してお禮も述べ、金も返濟したいと思つて居る所でムいますから　勇『然らば恐れ入りますが何うかお送りを願ひます　才『あゝ宜い共々さあ御同道致しませう、と才助は仲間の者に荷物を預け、誠に相濟まぬ譯であるが勇吉殿を送り屆けて進る所存であるから、此荷物を部屋まで持て行て下さい』と一同に別れて是れから勇吉を若王子に送つて行きました　勇『香具師の親方玆處が手前共で』と指されて只見れば家屋の構造は鄙には珍らしき立派な建物で、門構へ周圍の堀切等なかなか用意嚴重な住居でございまする、才助は心の中に『成程此家の主人が神懇

したが暫くあつて此方へ戻り　勇『親仁がお目に掛りますから何うぞ此方へ』とお案内を受けて奥へ參ると、主人が何か錢勘定や帳合調べなどをして居りましたが、才助の入來るを見て　長『さあ〳〵此方へ、私が此倅の親爺長左工門と申しまする者、お前樣の爲めに倅が危難を救はれた次第は委細承りましたが、洵に御親切の段有難たうございまする、まあ何うぞ御寛りと……　才『い、是は〳〵御當家の御主人始めてお目に掛ります、不思議な御縁で其場に居合せ御子息の御難儀を見受けましたから、拙者が仲人に這入つて事濟みになりましたが、途中で若しもの事があつてはと存じてお宅まで送り申しました、別にお禮を受けまする程の儀でもございませぬ　長『有難たうムいます自体此若王子と云ふ處は誠に人氣の悪い處でムいまして人を殴たり叩いたり時宜に依ると人を殺したりすることを物の數とも思はぬでございます乃公が村の若者に對して少々氣に入らぬ事がありましたに依て、若者共に腹を立せましたが、併し倅へ其仇を報はうとなんど云ふのは怪しからぬ奴等でムいます、其際私と村方の者共と悶着のお話しは一寸倅からお聞き及びでもムいませうが、己等が勝手にお玩弄にして勝手に毀して置きながら、一言の相談もなく御所屋に下げて出來上つた、好いわと云て何名主の奥印附の帳面を以て抑へたばつたで私しから金を取立てやうとしたのですから、そんな筋道の分らねに金は出せぬと聲う云ひましたが、それでは餘り色氣がないに依て私が百の錢を寄進して遣りました、勿体ない内の錢だからと云つて只出來るものではムいませぬ、有難う頂戴して歸るのが順當であるのに夫れを不足に思つて是れ許りの錢は要らねえと云つて私に投還して行くやうな不屆な奴等でございます



君ノ家庭を守れ

文明の進歩に伴ふて人類の趣味は多種多樣に赴くものであるから當然化粧の趣味も普及發達させねばならぬが、變態を生命とする俳優化粧を穩健なる家庭に注入されては災難である、我輩は相術を主とする俳優の口から尤もらしい穿き違へた化粧談を聞かせらるゝことを好まない、俳優の化粧が技巧を弄するものなることは讀者の説明を俟たずして明かである、俳優に化粧の必要なるは自己を放れて劇中の人に扮する爲めである、扮すると云ふのは化けることである、狐の化けると云ふことがあり得るとすれば俳優の化粧はそれと少しも異る所がない、此點に於て我輩は良家の子女が偽り多き俳優の化粧談を讀む場合に、眉毛に唾をお附なさいと勸告せざるを得ぬ、要するに家庭の趣味と快樂は飽迄も促進せねばならぬが、家庭の主宰者たり主婦たる人は必ず家庭の神聖と威嚴を濫されぬやうに常に高尚と云ふ觀念の柵を以て俗悪卑陋の趣味が侵入して來るのを堰止めると同時に謹嚴の柵を以て之を媒介する心を以て一ヶ子の美を愛護する家庭は必ずクラブ



下田女史　婦人禮法

若しくは感染せしむるやうな物品を引括つて家庭の内に侵入せしめぬやうに注意せねばならぬ

家庭に於て讀まるべき書物ですらも選擇を忽にしてはならぬと言はれて居る、況や代替のない大切な身體を掩つたり皮膚に塗布する化粧品の如きものは、其選定に愼重の注意を加へなければならぬのは勿論である、即ち素人は天成の美を發揚すると云ふ化粧の本義を念頭に置いて、皮膚には其の營養となり且麗色を増進するクラブ洗粉を使用し口中には其の衛生と歯牙に卓効あるクラブ歯磨を用ひて、第一に身心の清浄と自然美を磨くことを計り第二にクラブ白粉と其他のクラブ化粧品を以て、高尚優雅なる化粧美を添ふる樣に努めたならば、夫こそ神聖の家庭に在ても恥しからぬ一點汚れなき眞の美しさを發揮する事が出來やう（エス生）

제852호 1911. 12. 28.

東京電報

▲妃殿下御避寒

東宮妃殿下には御避寒の爲め二十七日午後一時卅分新橋發列車にて十二時五十五分逗子停車場御着葉山御用邸に行啓あらせらる旨仰出されたり

▲豫算綱要發表

來年度豫算大綱發表のため大藏省にては豫算の各款項に亘り精密に査定を了したるを以て今明日中に發表さるべし

▲東亞聯絡準備成る

鐵道院にては東亞聯絡の準備此程全く成り何時にても實施の運びに至れるが多分明年五月一日より實施すべしといふ

▲暹羅皇帝誕辰

明四十五年一月一日は暹羅皇帝陛下御誕辰日につき當日午後零時三十分長き邊より祝賀の爲め丹羽式部官を同公使館に御差遣の旨御沙汰ありたり

▲廢艦拂下に決す

廢艦となりし筑紫赤城八重山鎭遠高雄磐城鳥海天龍比叡の九艦は愈々拂下げに決せり

▲南洋漁船會社

資本金三百萬圓より成る南洋漁船株式會社創立發表せられたり

北京特電

▲皇太后と慶親王

皇太后は毎日幼帝を擁して養神殿に出御玉璽を用ひられ世續徐世昌は其傍に侍して恭しく之を受け内閣に回送すと又慶親王は攝政退位後終日宮内に深居して一切來訪を避け再び決して政治に關與せざる意を示す

▲朝陽に土匪蜂起

熱河來電に依れば朝陽府より奉化に至る地方は一般に土匪蜂起したりとの報あり巡防隊を派して之れが鎭壓に向はしむ

▲財政窮餘の策

内外債計畫共に失敗に歸したる袁世凱は窮餘の策として調停者現はれ局面の展開するを待ち内政を改革する外なしと感じつゝあるが尚河南の郷里に於ける家屋土地等を擔保として在奉天鹽運使を通じ同地紳商より百萬兩を借入れんとしつゝあり然れども今日の場合能く之れに應ずるの紳商ありや否や疑はし

▲モリソン博士と媾和

上海に在りて兩軍の間に斡旋しつゝありたる博士モリソンの歸京は媾和不調の前兆と見て可ならん彼れは袁に說くに共和の止むなきを以てすべし

上海特電

▲馬賊横行と派兵

四百餘名の馬賊はハクセンタイ地方を横行し騎兵一隊同地に向へり青岡縣及西圖の兩地にて各二三百名の馬賊蜂起せり

▲學生軍を組織

上海學生中より都督府は驗査の上四十六名を兵士に採用し學生軍の一團を作れり

▲決死隊の爆彈練習

當地の決死隊は近來爆彈形木質を以て投擲法練習中なり

▲孫逸仙の擧動

歸來せる孫逸仙は沈重荀もせず彼れは米國より巨額の軍資を借入たるを語れり

▲孫逸仙の宿所

孫逸仙は目下張園ホテルに投宿中なり

▲媾和前途不明

唐紹怡は媾和に關する袁世凱の回答を秘し更に長文の電報を袁に發したり媾和會議の前途は爲めに判明せず

雜報

●總督府の新年式次

四十五年一月一日總督府に於ける新年の祝賀次第を聞くに左の如し

△一日午前十時三十分李王殿下及各王族殿下の祝賀△同十一時より同三十分迄各外國領事團及在京外國人△同十一時半より午後二時迄總督府所屬各官署の親任及勅任待遇者並に所屬官署奏任及判任の各代表者李王職同代表者中樞院副議長贊議副贊議顧問朝鮮貴族民間代表者の祝賀

服裝は大禮服、燕尾服又はフロックコート(朝鮮人に在りては朝鮮禮裝にても差支なし)

●古川村井兩家暗鬪

東京の古川村井兩家が先般來或筋の勸誘に基くと稱し鑛業技師を當半島に派遣し金鑛の搜索に勉めつゝありしは世人の知るところなるが聞くところによれば右技師等は平安北道龜城郡に於て既に他人の發見出願に係る數區の金鑛に目を附け古川家先づ是等鑛區を獲得せんが爲めに其筋へ許可の出願を爲したるが村井家に於ても右同一鑛區を獲得せんとして許可の出願をなし結局今日にては古川村井兩家の競願となり互に暗鬪を爲しつゝありとの事なるが如何に現在の鑛業法が先願權を認めざればとて古川村井の如き富豪等が他人發見の金鑛をば發見人に一應の照會をも爲さずして出願するさへ不德義なるに搗てゝ加へて右の兩家が同一鑛區に就て競願を爲し且つ暗鬪を爲しつゝありとは富豪にあるまじき若々敷沙汰なりと云ふべし因に龜城金鑛發見者と稱する某は過日其筋に向ひ古川、村井の所爲に付き熱烈なる意味の陳情書を差出したりとの事なり

●在鮮内地人府縣別

本年六月末日現在警務總監部調査に係る在鮮内地人總數十九萬三千六百七十五人なるが内男十萬五千三百七十一人女八萬八千三百〇四人なり今之れが各府縣別移住數を記せば左の如し

府縣	人數
北海道	一、二三〇
東京	六、四一二
京都	三、〇八〇
大坂	六、七〇八
神奈川	一、七一〇
兵庫	五、四三二
長崎	二五、四九三
新潟	二、〇三〇
埼玉	八八五
千葉	一、四六二
茨城	一、四五〇
群山	九八四
青森	四八六
秋田	七二四
石川	二、一九五
鳥取	二、二五一
岡山	七、〇九八
山口	二二、八〇三
德島	三、三〇六
愛媛	五、八四二
福岡	五、四三九
佐賀	七、二〇四
宮崎	九四〇
沖繩	四四
栃木	八八六
奈良	一、五五〇
三重	三、〇三四
愛知	三、八四三
靜岡	二、四五五
山梨	八八九
滋賀	二、四二一
岐阜	二、三一七
長野	一、八八七
宮城	一、六三七
福島	一、九二三
岩手	六〇〇
山形	一、〇〇九
福井	二、三一六
富山	一、六三〇
島根	五、三九八
廣島	一二、二八七
和歌山	二、三六二
香川	三、九〇五
高知	二、〇九五
大分	九、九七九
熊本	九、六三八
鹿兒島	五、四〇五

●染料大工場設立

大坂福喜洋行にては這回京城古市町に三千坪の地所を買ひ入れ染料及び顏料の製造工場を設くる計畫にて目下地均中なるが來春三月工場の建築に着手し六月竣功の豫定なりと因に同洋行は十年前より朝鮮に染料の販路を開拓し來たり從來は獨逸馬獅子會社より原料を仰ぎ鮮人被服の染料に適する樣大坂に於て加工したる上移入し居たるが既に他競爭品を壓倒して全需要額の八割を占むるに至りしより遂に當地に分工場を設け一層廉價に供給せん爲めなりと云ふ

●總督の兩宮伺候

既記の如く寺内總督には二十七日午前十一時三十分昌德宮に李王同妃兩殿下を伺候し更に午後一時半より德壽宮に李太王殿下を伺候し歸任の挨拶をなせり

●鮮人の年賀會申込

京城民團に於ける新年名刺交換會に朝鮮人の申込者約二百名ある由なるが本春一月の加入者は約四十名なりしといふ

●學校組合起債額

朝鮮全道に於ける學校組合の數は十四個所にて内京畿道二、忠清南道一、全羅南道一、慶尚北道一、同南道七、黃海道一、咸鏡北道一にして來年度にいたらば更に增設を見るべきが今是等組合に於ける起債額を聞くに京畿道は三千〇二十七圓忠清南道は三百圓全羅南道は千百圓慶尚北道は三百圓同南道は四千四百十九圓黃海道は二百五十圓咸鏡北道は四千九

●屠場税問題に就て

▲京城府尹代理の談 民團が府に向つて屠場税なる一新税目を設け以て朝鮮人屠牛者に對し民團經營の屠牛場と同一課税を爲すと共に内地人にして其名義を朝鮮人に變更し以て其居留民として民團より當然課せらるべき屠場税を脱せんとする者を防ぎ以て民團の歳入をして減ぜざらしめんとの希望は民團側に於ける豫ての希望ではあるが未だかさへ問題であるし當府にても確たる意見は定つて居ぬもの丶府としては單に民團の歳入を增加する一方便として從來存せざる新税目を設くる程の必要も餘り認め難く目下研究中に屬して居る

▲中野總監部衞生課長の談 屠牛場を官營とせしは舊韓國時代の鮮人屠牛法が極めて非衞生的で官營として之れを取締るが衞生上必要なるを認めたからで其後併合と共に内務部から當衞生課へ移るに至つたのであるが今日に於ては民間日本人側にも一二屠牛業者のある在り今日に於て尚警務總監部が屠牛場を經營するは自然此等民間業者と競爭を試みるが如き狀勢に立ち至り且つ當衞生課は此等民間業者に對して嚴重なる取締を勵行しつゝあるに拘らず一方自身に於て之れが營業をなしつゝあるは甚だ妙ならずとも思はれたので今後益其の取締を勵行すると共に此際民間に對して之れが經營を讓與することの適當なるを信じ其の繼承者に就いては一箇人よりも團体たる京城民團に之れを讓與するの適當なるを認めたので民團經營に移さんとの下交涉をなすに至つたのであるが未だ確定した譯でなく民團側に於ては屠牛場經營に依り二萬五千圓の歳入を增加せしめんとの希望を抱き居る如うに見受けらるゝも該事業の如き從來の經驗に依れば無論損耗を來さゞるも決して斯の如き利益を博し得る性質のものにあらず民團にして其の經營に依り斯る歳入を豫想するに於ては或は其の結果の民間に多少の不利を來さゞるとも限らず民團の方針如何に依りては大に研究を要するものがある

●官署執務時間改正

二十七日付總督府令を以て總督府及び所屬官署執務時間を九月十一日より十月三十一日迄午前八時より午後四時迄十一月一日より翌年二月末日迄午前九時三十分より午後四時三十分迄三月一日より七月十日迄午前八時より午後四時迄七月十一日より九月十日迄午前八時より正午十二時迄と改定せられたり

●京城實業新聞

今回釘本藤次郎小林藤右衛門の兩氏は家庭雜誌を買收し機關紙として京城實業新聞と改題を其筋に向つて認可申請中なりしが二十七日附認可せられたる由

●大西軍醫部長檢閲

大西軍醫部長は二十七日午前九時より憲兵司令部の醫務檢閲を行ひたるが午後は朝鮮隊の醫務檢閲を行ふ筈

●早稲田大學校友會

在京城早稲田大學校友は二十八日午後六時より大和町梅の家に於て忘年會を開く由出席希望者は京城日報社へ申込むべしと

取引所設立賛否意見(九)

▲林東拓理事 曰く株式に就いては今日未だ京城に取引所を建つるほどの必要を認め得ぬ即ち京城現在の諸株は其數極めて少いのである併し米穀雜穀等に至つては寧ろ取引所設立の必要を認めざるを得ぬ出來朝鮮の米穀は其の生産者と需用者即ち農民と商人との間を連絡あらしむる機關に缺けて居る爲めに全道を通じての一定したる標準相場なるもの無く爲めに生産者の受くる損害は非常なるものであるので生産者は其の收穫物の標準相場なき爲め其の生産地より某地に向つて運賃を支拂ひ米穀を輸送するとして其の米穀の品質同じく又た運賃諸掛費も同一なりとしても其の某地に於ける賣價段は時を異にし又た人を異にするに從つて高下あるを免れぬ即ち玆に於てか米穀の如き亦彼の其の取引範圍極めて狹少なる市場に依つて取引を行はざるを得ざるに至り其の結果利を見るに於ては其の品質の改良等には比較的熱心なる可能性を有する鮮人農夫等をして敢て品質改良等の念を起さゝるに至らしめ農事改良上にも自然鋭意せざる傾向を生ずるに至つた嘗つて潭陽に至り一鮮人商店に於て其地の名産たる櫛を購はんとしたことがあるが其製品の店頭に陳列せらるゝもの多く其技巧品質の頗る優れるものあるに拘らず市場開市日までには數日の日數があるので未だ賣却する程の仕上げ品はないとて賣却を拒絶した其の範圍狹少なる市場に左右せらるゝ弊は實に斯の如くである以上の諸點より觀察するも朝鮮に於て米穀公定相場を定むる機關たる米穀取引所の設立は極めて急務である今日の如くんば朝鮮米の品質の良否の如き一に大阪に至つて始めて鑑定せらるゝ譯であるが若し之れに反して京城に於て公定相場の制定せらるゝに至らば利益に關聯しては其の品質改良等には頗るデリケートの頭腦を有すること上述の如き鮮人農夫は熱心に品質の改良等を計るに至るであらう取引所に利害共に免るべからざるは自然の理であるが其の弊害なりとして論せらるゝものも必ずしも京城取引所のみに隨伴するものでないので其の弊害を云々するは取引所論ならば格別京城取引所設立可否論にはあらぬ即ち予輩は其の利益方面より見て京城に米穀の取引所設立に賛成する。

▲原勝一氏 曰く取引所問題に關し貴新聞紙上方々の意見が掲げられて居るが何れも一理ある說である併し自分は取引所設置如何に就き未だ充分の研究を重ねて居らぬ發企人の一人として他より勸誘されたこともあるが留守中であつたためツヒ加入しなかつた直截にいへば自分は半島今日の現狀より推して民間幾多の有志が取引所の設立を熱望すとならば大に許すが宜からうと思ふ單に京城では株券を持つて居るものが少ないからとか又は弊害が起るからなど丶いふ議論は空漠たる議論で敢て取るに足らぬ若し設立を許可した後弊害の救ふべからざるものがあると認めた時は當局では容赦なく中止の命令を下すがよからう然り或る條件の下に許可したならば何にも逡巡する必要はなからうと思ふ又投機心を喚發させる虞れがあるといふ考へもあるだらうが世界列國苟も生を渾圜球上に營んで居るもので大なり小なり投機心のないものがあらうか若しソウいふ考へから其の設立を許可しないとすると夫れは大なる過ちだ成程投機心の喚發は惡い併し其投機心を善い方に利用すれば之れに依つて種々の事業を勃興せしめ半島開發の動機とはなりはしまいか而して其の投機心を善い方に利用するといふことは之れ一に爲政家の任務ではあるまいかマツ〱机上の議論は廢しにして事實遣らして見るが宜いではないか云々

●京城郵便局繁忙

京城郵便局にては去る十五日特別郵便取扱ひを開始して以來日を追ふに從つて多忙を極め昨今にては係員全部は交代にて徹夜事務を取扱ひ局長は退廳時間後も居殘りて夜間迄監督をなし居るが今十五日以來二十六日迄十二日間に於ける新年賀狀受付の數を聞くに十二萬〇二百四十四葉にて之れを昨年の同期間に比すれば八萬一千五百五十四葉の增加を呈したりと而して此の趨勢を以てすれば取扱締切期日たる二十九日迄には一層多數に上るべく尚昨年の締切期日迄に取扱ひたる數は六萬二千三百五十五葉なりといふ

●太田煙草試作狀況(三)

▲各種被害の程度 螟虫、蚜虫の害は朝鮮種八種各植付株數四百八十株に對し最少きは持香草、茄子草にして赤星病は之に反し却て上記三種に最多く立枯、笹葉病は朝鮮種に之を認めず日本種に在りては達磨葉虫害最少く松川葉之に亞ぐ赤星病は之に反し亦た上記二種に最多く笹葉病は達磨葉に二株を出し他は徵候を認めたるのみにて回復せり米國種の虫害少なきは『ブライト』及『コンクロエール』にて他は概ね差異なし赤星病は『ベスター』葉の二株を認め笹葉病は多少各種共兆候を認めたるも是又回復被害なきを得たり而して日、鮮、米三種中旱濕害の耐力程度は朝鮮種最強く米國種之に次ぎ内地種最も弱きを覺えたり

▲收穫比較に於ける 反當乾葉量は米國種『ベスター』の四十貫三百三十匁を最多とし日本種秦野葉の三十六貫五百十匁之に次ぎ朝鮮種は成川葉の三十二貫二百二十匁を以て最多とす更に價格の割合を比較するに各種一反當最多額朝鮮葉の苦草に於て二十六圓五十九錢を得内地種の秦野葉に於て五十三圓七錢を得米國種の『エルローオロノコ』葉に於て五十四圓十七錢五厘を得たり只だ是れ本年一回の試作にかゝるのみなるを以て各種中に於ても何れを以て探算上利益なるやを定め難しと雖も要するに朝鮮種よりは内地種又は米國種の優良にして利益なるは疑なしと謂ふを得べし(完)

●在郷軍人會の遙拜式

京城在郷軍人會にては來る新年一月一日午前十時會員一同憲兵隊司令部前に集合遙拜式並びに勅語捧讀式を擧行し一同萬歲三唱祝盃を揚げ解散の筈にて會員は各自勳位官等及氏名を認めし名刺携帶すべし

●京畿道内地税徵收

京畿道管内に於ける第一期地税の徵收は本月末を以て納期終了となるものにて既に大部分の徵收を終り成績甚だ良好にして明春一月末迄には全部收納濟となるべしと

●商品陳列館の休館

商品陳列館は廿九日より明年一月五日迄休館する由

●岡崎遠光氏の宴

日韓瓦斯電氣會社長岡崎氏は二十六日午後六時より新聞及び通信社長並に特派員を花月に招待せしが種々の餘興ありて盛會なりしと

▲京城手形交換高▼

十二月	金高	枚數
廿七日	二八四、七九二、〇五〇	九四〇

▲治外法権▼

烏兎匆々明治四十四年も餘すところ僅か三日となつた顧れば本年は本紙にとつて頗るの厄年であつた、併しドーカ、コーカ數多くの大厄小厄を切拔け得たのは一は神明の加護と、一は愛讀諸君の厚庇に因るものと、謹みて感謝の意を表する▲玆に改めて言つて置かねばならぬは、本紙如何に物ずきなりと雖も、自ら好んで災厄を招かんやだ、只だ夫れ誰かゞ云つた通り、斯くすれば斯くなることゝ知りながら止むに止まれぬ大和魂が玆に到らしめたものだ▲サテ本年中に於ける總督政治は如何なる有樣であつたかと云へば、無論多少の進歩發達を見たのだ、然らばナゼ幾分にでも進歩發達を爲し居る總督政治に對し、不絕攻擊の筆を向けるかと云へば、开は記者として尙一層の進歩發達を望むのあまり、勢ひ本紙の鞭韃を必要と信ずるからだ▲古語に曰く、棒程願つて針程かナウと、亦た曰く、眠る者は退歩すと、以上の二語を味ひなば、本紙平生の所期の何たるかは立所に判らう▲アー觀測所、警鐘、是等を必要とする社會は同時に獨立の新聞紙を必要とするのである、寺内總督が、下僚末輩と異なり出來得るだけ夫れだけ、寬容の態度を以て本紙に臨まんとするは、必ずや本紙存在の意義を諒とし解として居るからである▲サラば讀者諸君よ、記者は本年中に於て、微力の有らん限りを盡し、國家社會に向つて幾分の貢獻をした積りだ。尤も斯は記者當然の天職を盡したまでゞ一點誇るべき理由はない▲本紙は例年の通り本號を以て終刊とし、年末休刊の後ち來る子歲の元旦より筆を新にして愛讀諸君に見えんとす、玆に謹んで諸君の無事越年を祈り、併せて多幸なる新年を迎へられんことを祈る▲鮮銀問題が内地でも大分喧ましくなつた今朝着大坂時事は朝鮮銀行の難狀正貨準備の大逼迫と題し紙面二段に亘る記事を掲げて居る▲サテ其始めこそ本紙の孤軍奮鬪であつたが、今日の樣に東京や大阪の有力な同業者が本紙の主張に聲援するようになつては勝利はもうコッチのものだ▲鮮銀の第三回拂込、开は仕方がないとして市原總裁は臨時總會に於て、拂込必要の理由を何と說明するであらうか、マサカに鮮銀の内幕を悉皆ブチマケる譯にも行まいではないか▲市原が今日の窮境に立つ樣になつたのも自らを知らざるの致す所、餅は餅屋酒は酒や、彼れ亦た去つて本業に立歸り、天國でも說くが上分別であらう。



●嘘吐田中守平

醫師に非ずして醫師に類似せる行動をなせる彼田中守平の所謂靈子治療なるものは肉体的疾患就中花柳病まで治癒せしむる効力ありと云へるも(患者の信不信に係はらず)記者は信ずる所の靈理(彼の靈理に非ず)に依りて、判斷して全然信ずべからず不可るを斷じ得たり、然れども事は暗默笑示の機微間にあれば之れを文字に現はすは難かしければ科學的に引導を渡すに勝かずとて二十五日午後七時半明治町鶴田醫院に院長

醫學士鶴田善重氏を訪ふた、鶴田氏は田中守平とは何者かと云ふ彼が自身の領域を侵して居る事を知らんらしい依つて記者は二十四日と二十六日との本紙を見せて之に對する意見を聞き度いと申込むと鶴田氏は何か思ひ當る事があるらしく點頭きつゝ『其男の事でしよう五六日前に或署の高等刑事が催眠術類似の行爲にて一般患者の治療に從事する者がある相だが事實かとて聞きに見へたが僕は知らんから知らんと答へて置きましたがね、イヤ馬鹿／＼しい話だ我々專門家の見放した患者を藥を用ゐずして全治せしむるなぞと、催眠術の如きもヒステリー症には一時的慰安の念を懷かしむるものとして內務省でも此種の精神病者に限り應用を許してありますが此逆も程度問題でして程度を越したら弊害がありますす私も大阪で一寸研究した事がありますが物質的病氣即ち梅毒、癩病並に腸、肺、胃等の內臟病には、些少の効力も無い、靈理と云ふからには靈の濟度は何うか知らぬが肉躰疾患の治療なぞ思ひも依らぬ、總監部に取締方法が無いとの事ですが何とか取締る道は無いものでしようか云々

廿六日午後四時

南部警察署長今村警視を訪ふ、署長は例の快活なる調子にて田中守平が醫師同樣肉躰的疾患者を治療しつゝありとは新聞を見て初て知つて驚いた事實とすれば甚だ不都合だ、南部署長としての從來の意見は最初田中守平が靈理學會支部設立の願出の際彼を呼出し彼自身が作つた四ヶ條の誓文を示して確く彼に說諭を加へた所が彼も之を守る可く誓つて居るのだ其條件は

一、醫藥を妨げざる事
二、誇大の廣告を爲ざる事
三、研究の範圍を脫すべからざる事
四、一定の料金を受け職業と爲さゞる事

此條件は固く守る約束である、此さへ守つて居れば一般の人が稻荷さんに油揚を上げたり金光樣や天輪王樣に參詣すると同然仕方もないが話の如く患者の診療が多忙だの取締規則は無いのと威張つて居るとすれば取締る必要が有るから一度彼奴を呼出して取調べて驗るよ不都合な奴だな、取調べた上又た叱しするよ今日は多忙しいんだよ例のかへヴン甘く擒綱たよ失敬する

●慘憺たる歲暮の市況

▽不景氣の頂點

官吏を唯一の顧客として內地人同志が友喰ひをしてゐる京城の商人は情け無い哉である官吏の一擧手一投足は直ちに商人の米櫃に影響を及ぼして來る其處で總督府の下した不文の制令出入商人より官吏に對して歲暮の贈物を嚴禁すとの御達しに今更青息吐息で夜逃げの準備オサ／＼怠らぬ手合も少なくないとのことだ試みに二三の店を叩いて見ると……何しろ大打擊です三十九年四十年頃の歲末に比較すると昨年即ち第一回の御達しが出た年は殆んど賣上げ高が半減されて了つた殊に本年は目も當てられ無い程慘憺たるもので平素の月と少しも異なるところはありませんせん出るものはホンの日用品に過ぎず心賴みにした二十一日後も餘り捗々しくありませんソレに本年は年末賞與もなし昨年に較べると半分しか無いので唯一の華客からして此は一般況衰の極で何して居るので商業に壞さと云つた顏を云つた處が通じ無いのだから只時勢の推移を待つより外に策がありませんと歩を轉じて鮮人向きの商人を訪ふと年一年と購買力も增進し對手の趣好も高まり益々好況に向ひつゝありますと至極簡單だが面白い要するに目の着け處だ友喰ひばかりが能ではあるまい商人諸君の一考を煩はすべき點と思ふ ヤレ西洋ではクリスマスの贈答品に多額の金を惜まぬとか日本でも古來の慣習で畏れ多いことながら歲末に際しては陛下よりソレ／＼臣僚に對して下賜品があるとか然うした御達しは受取る方の官吏側だけを戒飾すれば宜い我々商人がゴマを擦つて納め物でもする樣に思つてか一切官吏に贈物はならぬなぞとは餘りに商人を侮辱してゐるとか誰れが官吏等に袖の下と云つた意味の贈物等をするものかなんて愚痴るのは廢めよ今日の次ぎには明日が來る不景氣の風が次き荒ぶ冬の後には春風駘蕩の好季節が來るのだキット來る先づ以つて持久策を講じて花笑ひ鳥歌ふ財界の春季の來るを待て

●辻强盗逮捕せらる

▽金を出さねば强姦

去る十三日十四日の兩夜に渉り旭町相生町の街路に於て老幼婦人の通行するを捕へ强盗的行爲にて所持品を奪取したる犯人ありと屆出に接し南部警察署に於て今村署長自ら變裝し各刑事を督勵し大活動を演じたる事は既報の如くなるが長野佐藤岸の三刑事が鮮人風に變裝し寢食を忘れ數日に渉り苦心搜査の結果犯人は京城南部青龍橋九十統四戶果物商李相浩(二五)京城北部蓮洞一統八戶金學洙の二名と判明したり彼等は十三日以降數日に渉り米倉町羽島ぬい(十七)黃金町井手三郎氏實母ふさ(五五)等が夜中旭町一丁目街路を通行せし際引捕へ金を呉れぬと强姦す可しと脅迫し現金二十餘圓を强奪し其の外數ヶ所に於て金品一千餘圓を强盗若しくは竊取したる事判明し廿七日檢事局に送らる

年末休刊社告

本紙は例に依り二十八日附の本紙を以て本年の終刊とし二十九、三十、三十一の三日を臨時休刊す但し緊急の事件は假令日曜大祭日たりとも號外を發して之れが報道に努むべし尙明年一月一日は嘉例により趣味津々たる記事を滿載せる大部のものを臨時刊行し讀者平素の眷顧に酬ゆるこゝし更に一月二日を臨時休刊とし五日附より例年の如く發行仕候

十二月　京城新報社

●群山消防隊の總辭職

▽群山日報の失火が動機

群山消防組は日勢組群山組外一開隊に依りて組織せられ群山居留地內外の消防に從事したりしが今般三組とも總辭職を決議しその筋に對しそれ／＼辭表を提出したり右辭職の原因さその由來するところ久しく種々復雜せる內情ありと雖も要するに諸器具諸器械等不備を極め到底責任を帶びて消防に從事し難き現狀なるより組長始め組合員の不平甚だしかりしが去る十三日群山日報社より失火し附近數戶を類燒したりし際の如き右等の事情よりして充分の活動を爲すこと能はず市民の信賴を空ふするの嫌あるを以て斷然辭表を提出するに至りたるなりと云ふ右につき群山市民の不安甚だしく去二十二日民團役所樓上に開會せる民會の終了後民長議員等は協議會を開き消防隊の善後策に就て種々協議するところあり兎も角一日も看過すべからざる重大事件となし直接の當局者たる群山警察署及居留地會に嚴重交渉を遂げ迅速に善後の策を講ずることゝなり目下種々談判中なりと云ふ

●不倫なる被加害者

▽同一の他妻と姦通

福岡縣人熊谷福太郎(四〇)が女仇鬼木彥四郎(三〇)を殺害したる動機に付聞く所に依れば同人の素性を記せんに加害者福太郎は福岡縣筑紫郡御笠村生れにして數年前渡鮮し大邱府に於て商業に從事せしが昨秋失敗の結果京城に來り被害者鬼木彥四郎の食客となり本年三月頃鐵路商業合會社事務員に雇はれ七月頃社宅を貰ひし爲め別居したり犯罪の原因は被害者鬼木が附近に住む稻葉某の妻女に稻葉とし(二六)なる者と姦通し居る內としは熊谷とも姦通し居たるが稻葉夫婦は去る十一月上旬江華島に轉任したる後にて鬼木熊谷とは互に關係ありし事を談合ひ僕に惚れて居た俺に惚れて居たからと爭論せし事あり二十四日の夜も加害者宅にて飲酒の揚句淫婦としの事より爭論格鬪の結果死に至らしめ遺骸を遺棄せしものなりと尙熊谷は其の夜新町遊廓青春樓に登樓し居たるを南部署より友人鬼木彥四郎が行倒れ死せし故檢視に立會ふ可しとの通知に何にも知らぬ風にて立會たるを嫌疑者として捕れ家宅搜索の末自白したるなりと

●井出三郎氏の罪名

▽賭塲開張並に僞證罪

彼の井手三郎氏が去る二十六日仁川に於て京城地方裁判所高木豫審判事の令狀に依り拘引せられし事は既報の如くなるが右の眞想に付ては豫審に屬し報道爲す能はざるも罪名は賭塲開張並に僞證罪にして同日午前十二時過ぎ右令狀執行されたると同時に京城地方裁判所よりは撿事長尾檢事高木豫審判事は各一名宛の書記並に警務總監部よりは出張せる司法主任安藤警視が從ひ來りし刑事を從へ若草町の井手氏自宅黃金町の井出本店旭町一丁目の井手支店の三方に分れ家宅搜索を爲し有力なる證據品を押收したりと

●沖津戶十郎等は有罪

▽鬮々しく控訴すべしと

仁川水產株式會社專務取締役沖津戶十郎同會計係芹川傳藏に對する橫領費消事件の判決は二十六日京城地方裁判所仁川支部に於て言渡あり被告戶十郎は懲役十ヶ月被告傳藏は同八ヶ月に處せらる因に被告兩人は控訴すべしと云ふ

●龍山の鮮人强盗

▽二百三十餘圓を强奪

二十六日午前一時頃龍山東幕上契二十一統一戶高濟勉方へ一人の强盗侵入し熟睡し居りたる主人を呼び起し脅迫して現金二百三十餘圓を强奪し何れさもなく逃走したる報に接せし龍山署よりは香村酒本の兩巡査出張目下嚴探中

●京城券玉家席

花柳界歲末觀

▲同席仇吉曰 私が朝鮮で歲末を送るのは此で四年目、本年の花柳界の不景氣つたら話になりませんよ、併し私は昨年の歲末は井門に居ましたが事情あつて休業して居ましたのみか暮の三十一日の夜井門を出ました位ですから此程不景氣な歲末はありません一生忘れられません夫に引換へ本年は不景氣なりにも御贔負の御餘光を以て不自由なく歲末を送られますのは有難い事で

▲同席伊達子曰 私は此で三年目ですよ去年迄は擲擧さんでしたが昨年の五月迄の景氣つたらありませんでしたね、夫が七月頃から火の消ねた如でしよう、辛氣だワ、丶た加けに歲末だからつて誰一人相談する人はなし……尤も岡惚は一人あるけど夫れは女房持で片思ひ、てナ始末ですから每年親許から金や衣裳を取寄せる始末、末は麼うなることやら／＼ですよ、兎に角私は子爲生れですから、ウント働く心算よ、御贔負にと際ゞい所で廣告をしますよ

●柔道寒稽古　修道館

▽一月五日早朝より

大和町一丁目東洋協會學校內修道館にては一月五日早朝より柔道二段小田內務事務官監督の下に每朝柔道の寒稽古を行ふべしと

●娼妓の無斷外出

龍山桃山遊廓十二番戶第二種料理店赤菓子松次郎方娼妓磯野キチ(二〇)は二十六日無屆にて同地櫻町邊に外出したる處を井上巡査に認められ二十七日科料金五十錢に

●公判だより

▲中根澤藏の傷害事件は罰金百圓に▲喜多貞太郎の橫領罪は懲役三月に▲根本章吾の橫領罪は懲役一年に處せらる

●取消

貴紙第八四八號邦蘇信者の御注の記事中大和町山口大助店員岡田及び妻りきとの醜關係云々の一項は事實無根に付き全文御掲載の上御取消相成度此段及御願候也

明治四十四年十二月廿七日

友人　京城太平町一丁目　相川彥市 印　田中廣太郎 印　平山政十 印

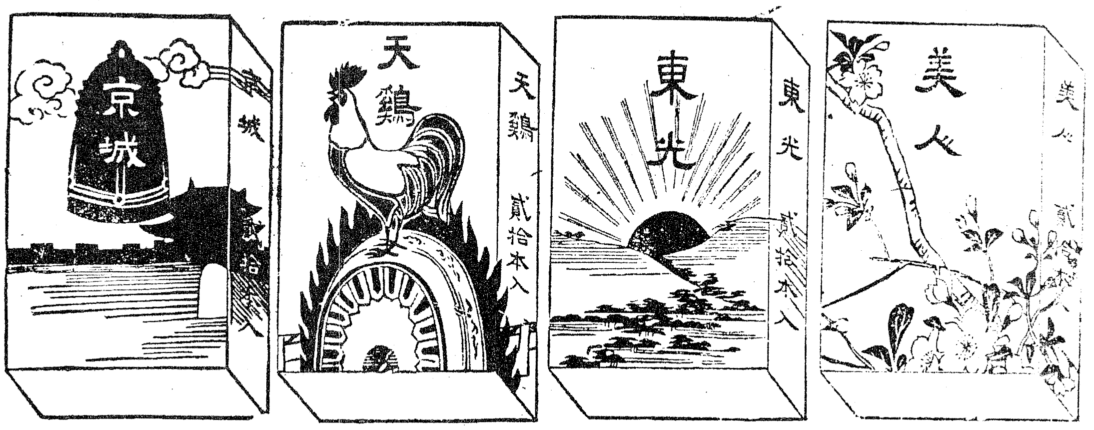
京城新報社御中

●演藝だより

▲壽座 舊劇若島屋一座にて蓋明けの筈なるが藝題は一日前『軍術出口の柵』中『双つ蝶郭日記八幡引窓』切『波の浦島會の入船』にて二日前『新薄雪物語』中『蝠山姥八重桐物語』切『お染久松野崎村』三日前『蘆屋道滿大內鑑』中『太功記杉の森の塲』切『吃又平繪拔けの塲』四日前『花襷佐々木巖流』中『お染久松質店の塲』切『國性爺合戰』なりと

▲歌舞伎座 改成義團一行の初日藝題は『月魄』七幕二日目『女の望』七幕三日目『通夜物語』なり

改良紙巻煙草



貳十本入定價貳錢　貳十本入定價貳錢五厘　貳十本入定價四錢　貳十本入定價五錢

東光社の賣出し

（十二月二十八日より）

我社の告白

△從來の煙草製造業者は原料に供すべき葉煙草に清潔法を施さず復た消毒法を行はざるか故に其葉煙草には往々泥沙塵埃の混入を免れざるのみならず甚たしきは耕作季肥料として施したる汚穢物か點々葉の表裏に附着し無數の黴菌其間に發生することあり假令煙草は單に其煙を味ふにありとなすも固是吾人の口唇に接觸し咽喉に吸入するもの如何に外容美を粉飾したりとて此不完全の製造法を聞かは孰れか衛生的危險を感ぜざるものあらん

△近時煙草界の競爭は殆んと其極度に達し徒らに價格の低廉を是事とし絶て製品の良否を顧みず益々粗製濫造の弊を助長し喫煙者も亦た所謂其臭汚に慣れ之を異とするの色なし是豈に最も恐怖すへき現象にあらずや

△我社の提供する改良紙巻煙草は内地煙草界に於て曾て偉大なる發明をなし名聲嘖々たる森野技師長が獨得の技術を應用し各國の名葉を撰み悉く殺菌法を行ひ凡ゆる不潔物を除去し加之極秘の手段に依りニコチン毒を豫防せるを以て其原料や清淨無垢其製品や純良温雅衛生上何等の危險を認めず却て喫煙者をして心身快爽自ら進取の氣象を鼓舞作興せしむ

△我經營者か此劇甚なる競爭場裏に一新旗幟を樹立し茲に工場を擴大し嶄新の機械を購入し熟練の職工を補充し敢て大飛躍を試みんと欲する所以のものは要之唯た自己を利せんか爲めにあらず烟草製造の改良に努力し又た烟草栽培の改良を促し天惠に富める帝國の新領土たる朝鮮半島をして將來卓越なる烟草生産地たらしめ以て國家の大富源を開發し尚且つ幾多可憐の子弟婦女に適當の職業を與へ聖世の下善良の生活を得せしめんとするの微衷に外ならず

△以上の趣旨に基き我社は勉めて廉價販賣をなし此衛生的經濟的の改良紙巻烟草を普及するを中心の希望となし欣快となせり我社必しも自賛せず謹んで大方僉位の御實驗と御眷顧を乞ふと云爾

尚は二十本入袋二十個を壹箱となし其表裝は各品とも意匠美を施し高尚佳麗歳末年始の御贈答用として絶好なり

京城西大門外獨立館跡

紙巻煙草製造所

東光社

電話一七〇六番